

図書館 だより

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき

ホテルの季節です。ホテルについて、図書館(室)で調べてみませんか? ホテル



新着・お薦め図書

泗水図書館
 東京抒情 川本三郎 著
 戦旗 松永弘高 著
 お坊さんがくれた拭いても拭いても涙がこぼれるお話 浅田宗一郎 著
 冬の物語 イサク・ディネセン 著
 女性官僚という生き方 村木厚子 編
 100歳夫婦力!二人で始めるピンピン・キラリ 本岡典子 著
 子どもの哲学 河野哲也 ほか 著
 幼い子は微笑む 長田弘 / いせひでこ 詩・絵

中央公民館図書室
 大村智物語 ノーベル賞への歩み 馬場錬成 著
 魔法のケーキ 焼くと3つの「層」ができる、不思議でおいしいお菓子 萩田尚子 著
 絵本 母と暮せば 山田洋次 文
 闇医者おゑん秘録帖一花冷えて あさのあつこ 著
 作家ソノミの甘くない生活 群ようこ 著
 I LOVE スヌーピー THE PEANUTS MOVIE ワダヒトミ 作
 ゆきのんのんねこざかな わたなべゆういち 作・絵

七城公民館図書室
 へろへろ 鹿子裕文 著
 岳飛伝 16 北方謙三 著
 傷物語 西尾維新 著
 しずくちゃん 26 ぎぼりつこ 作・絵

旭志公民館図書室
 二重生活 小池真理子 著
 つこい頭痛をぐんぐん解消させる!最新治療と正しい知識 清水俊彦 監修
 すっきやわん! エド・ボクソール 作・絵
 こちょこちょさん おーなり由子 文

子ども読書フェスティバル 泗水図書館

いろんな企画や展示を用意しています。みんな来てね!

とき 5月7日(土)・8日(日) 午前10時～

ところ 泗水図書館

7日(土)
 午前10時～正午 **俳句ワークショップ**
 五・七・五音の言葉を集めて俳句を作ろう!
 図書館の周りを歩いて言葉のスケッチをします!

午後1時～2時 **おなはし会**
 絵本のおみせかせ・エプロンシアター 他

8日(日)
 午前11時～正午 **子どもが主役!のオンステージ**
 ドキドキマジック・おなはし会 他

7日(土)・8日(日)
 午前10時～ **なりきり司書体験**
 司書ってどんな仕事をするの? 体験してみよう!

午前10時～ **リサイクル図書無料配布**
 図書館で利用しなくなった本を無料配布します。
 ※無くなり次第終了します。

※地震の影響で内容を変更する可能性があります

4月23日(土)～5月12日(木)は「こどもの読書週間」です。
 今年の標語は「四角い本に まあるい心」です。



桜の絵本がたくさん咲きました!

▼七城公民館図書室
 ・第3土曜日 午後2時～ おはなし会

▼旭志公民館図書室
 ・第3土曜日 午後1時30分～ おはなし会

耳より情報

「桜の里菊池」メッセージ絵本完成!

世界に一つしかない桜の形をしたすてきな絵本を作りました。

▼泗水図書館
 ・第2・4土曜日 午前11時～
 しすいっ子童話会のおはなし会
 ・第4金曜日 午前11時～
 おはなしの部屋 (赤ちゃんのおはなし会)

▼中央公民館図書室
 ・第1・5土曜日 午前10時30分～ 中央おはなし会
 ・第2・4土曜日 午前10時30分～ きくちおはなしのもり

万句の里俳句会 3月例会

山頂は残雪のあり阿蘇の山 野中 公枝
 蝮の道それぞれ思案あるごとき 隈部 輝子
 家解けてぺんぺん草の地となりぬ 加藤 妙子
 雲去りて静かにあかす雪の峰 平山 邦子
 芽柳の風に揺れ合ひもつれ合ひ 宮本 雅子

せせらぎ俳句会 3月例会

句の友の遺品懐しむ春ひと日 服部 静子
 春風や今日はバアバの大背伸び 寺本 和子
 卒園児はや少年の貌をして 藤本 邦治
 片側の靴下探す春の朝 五丁 義昭
 黄の息吐く菜の花連翹風の中 藤本アツ子

旭志文芸教室俳句の会 3月詠草

老眼鏡押しあげて見る春の雪 芹川 蓉子
 ふりかえる記憶おぼろに春炬燵 水谷 ミネ
 冠雪の鞍岳やさし富士に似し 芹川のり子

受験の子気遣う夜半の寒さかな 中尾ヨシコ

肥後狂句水笑会 3月例会

暇んなか 体が二ついるごたる 小崎 海美
 暇んなか 卒業式の3つあり 宮上 美由
 早合点 好きて言わしたごたつたつ 井手 水光
 暇でよか 銭の有るならまあだよか 平井 紅彩
 早合点 悔やみにいたりや生きとら 山隈 好茶

七城短歌会 3月詠草

越しゆきし幼子くるぶき後ろ手にふり向きざまに我に笑みかく 高木 精
 寒風に晒さる市営サッカー場応援の孫マフラー借りに来し 池田カツ子
 咲き盛る梅が寄せしか雀五羽和み飛び交う五福にあやかる 嶋田 晴美
 見せばやな川に戯むる鴨群れの立つる飛沫のきらめく花を 緒方 寛子
 草抜くにやや飽き手休む目の前をひばりが狂喜の求愛ダンス 緒方 正俊

「里」短歌会 3月詠草

旅の日に貴方と求めたセンチサーの小鳥は今も二羽で囀る 山城 雅子
 淵上毛銭の臥したる窓は地の見えず空ゆくものと輝くものと 宮本 淑子
 父母に想いのすべて残せずに知覧の空に消えたる学徒 桑野 睦子
 掘り返す土塊にこもる温もりにエンドウ播きて芽生えを待ちぬ 川口 敦子
 隣家の雪柳咲き揺れる音ベージュのカーテン閉められたまま 江頭 桂子

高齢者大学文芸部 3月歌会

冬庭に空よりの便り届き来て春告げ鳥の声の明るし 岩木タエ子
 玄関の近きに咲きし沈丁花あまき香りを周囲に放つ 安東 綾子
 春寒の庭に出づると香のしるく濃き紫の沈丁花咲く 田中 遙子
 庭畑の伸び行く野菜菜しみてあしたに繋ぐ一人の暮らし 中原 光子
 千秋楽取り組む力士に見入るわれ戦わずして肩の凝るとは 山田 弘子

菊池短歌会 4月詠草

サンイチイチ月日は流れ重なれど失くして分かるたいせつなもの 川口 幸臣



村のみせ閉店になり所在なげに少し傾きポストが立てり 安藤 則子
 タぐれのゼブラゾーン誰も彼も己のゴールへ目ざして走る 岩永 典子
 RとL言へない聞けない吾の英語何度習ひても上手にならぬ 古賀 勝士
 日脚伸ぶ春の夕べをさやさと草萌の河岸に吹く風の波 中川 愛子

文芸 きくち